

取扱説明書 782型 完成品

[1] 特 徴

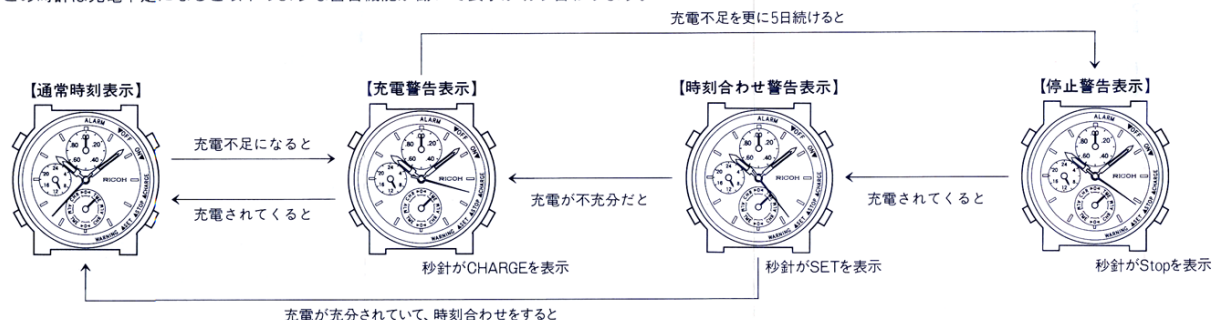
この時計は 文字板面にソーラーセルを配し、光エネルギーを電機エネルギーに交換して
時計の針やアラーム音の動力源となる光発電機能をベースに アラーム、クロノグラフ
機能を搭載した 多針アナログソーラー時計です

※ご使用になる前に

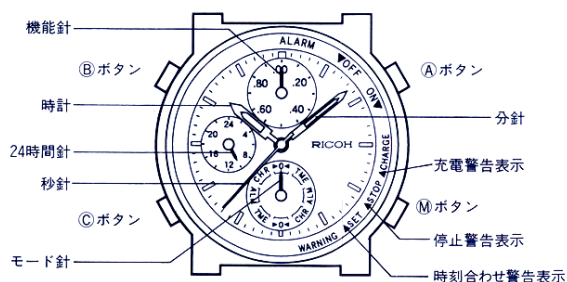
この時計には電機エネルギーを蓄えるために 二次電池(チタンリチウムイオン)を使用しています。
一度フル充電すると約80日間は充電しなくても 時計は動き続けます
(設定条件:アラーム音15秒/日、クロノグラフ計測60分/日で使用した場合)
毎日充電を心がけてご使用されることをお勧めします。
(過充電防止機能付きですので過充電の心配は有りません)

ソーラーウォッチ特有の機能について

ソーラーウォッチならではの機能です。
この時計は充電不足になると以下のような警告機能が働いて表示が切り替わります。



各部の名称



名 称	時刻表示	アラーム表示	クロノグラフ表示	0位置確認表示
モード針	TMEを表示	ALMを表示	CHRを表示	(0)を表示
秒 針	秒表示	アラームON/OFF表示	クロノ秒表示	0位置表示
分 針	分表示	アラーム分針	時刻の分表示	
時 針	時表示	アラーム時針と連動して24時間表示	時刻の時表示	
24時間針	時針と連動して24時間表示	時針と連動して24時間表示	時針と連動して24時間表示	
機能針	常に0(12時)位置	クロノ1/20秒又は分を表示	0位置表示	
(M) ボタン	モード切り替えと時刻修正に使用	モード切り替え	モード切り替え	
(A) ボタン	不使用	アラームON/OFF切り替え	クロノスタート/ストップ	秒針の0位置修正
(B) ボタン	時計方向に時刻を修正	クロノ1/20秒単位計測読み取り	機能針の0位置修正	
(C) ボタン	反時計方向に時刻を修正	クロノスプリット/リセット	不使用	

充電警告表示: 秒針がこのCHARGE位置へ移動すると時計が充電不足であることを知らせる充電警告機能が働いていることを示します。
停止警告表示: 秒針がこのSTOP位置へ移動すると時計が充電不足により停止していることを知らせる停止警告機能が働いていることを示します。
時刻合わせ警告表示: 秒針がこのSET位置へ移動すると時刻が正しくないことを知らせる時刻合わせ警告機能が働いていることを示します。

時刻合わせ



※(M)ボタンの引き出し操作を容易にするため、時刻合わせをする時は腕から外して行って下さい。
モード針が「TME」を指して時刻モードであることを確認します。
1. (M)ボタンを1段引きします。秒針が0秒位置で停止します。
※万一秒針が0秒位置に停止しないときは後述の「各針の0位置確認と修正」を参照して0位置修正をしてください。
この時計の時刻修正はボタン操作による電磁修正です。

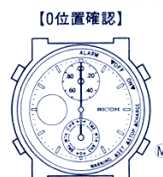
- 分針 → 時計 → 24時間針と連動して時刻修正します。
時計を合わせるときは24時間針の位置(午前/午後)に注意してください。
2. 時刻修正は(B)または(C)ボタンを押して修正します。
(B)ボタンを一回押す毎に……時計方向に1分づつの修正ができます。
(C)ボタンを一回押す毎に……反時計方向に1分づつの修正ができます。
(B)、(C)ボタンともに押し続けると早進針します。
※「TME」モードで充電切れによる時計停止の場合、再充電後モード針を「TME」以外の表示に切り替えた後、再び「TME」モードにして時刻合わせを行ってください。
3. 時報などに合わせて(M)ボタンを通常位置に戻すと正しい時刻で時計はスタートします。

【分針が正しい位置にないときは】

- (M)ボタンを1段引きします。
- (A)ボタンを押しながら(B)又は(C)ボタンを押す毎に20秒づつの修正ができます。
注意: (A)、(B)、(C)ボタンを同時に押さないでください。押した場合は、「0位置合わせ」が必要になります。

各針の0位置確認と修正

静電気の影響や強い衝撃等により時計の表示が狂うことがあります。
このような場合には次の各針の0位置確認の上修正をします。



【0位置確認】

(M)ボタンを押してモード針を「(0)」位置に合わせ0位置確認モードにします。
このとき、秒針、機能針が0位置(12時位置)へ早送りされるかを確認します。
秒針、機能針が0位置(12時位置)以外のときは【0位置修正】が必要です。

- 0位置確認モードで(M)ボタンを1段引きします。
- 各針の0位置修正をします。
秒針の0位置修正……(A)ボタンを押して修正します。
機能針の0位置修正……(B)ボタンを押して修正します。

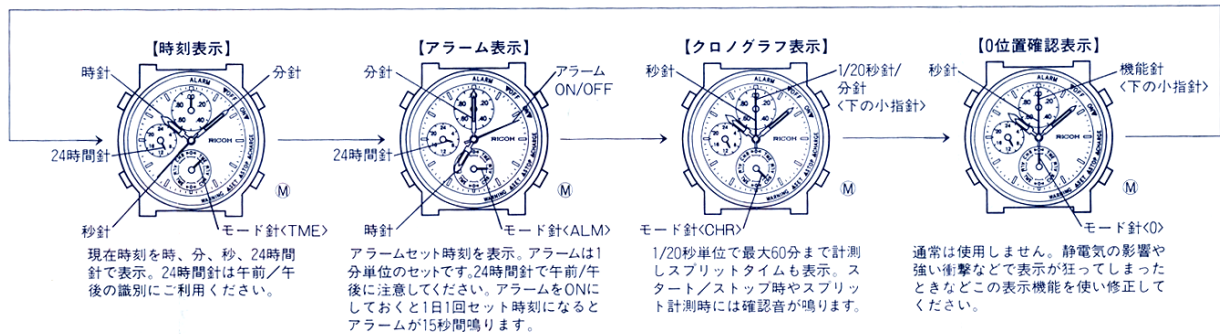
※(A)、(B)ボタンともに押し続けられ早送ります。
3. 0位置修正をしたら(M)ボタンを通常位置へ戻せばこの操作は完了です。
※0位置修正が完了したら時刻、アラームセット時刻を合わせて直してください。



【0位置修正】

表示切り替え

この時計の主な表示機能として時刻のほかにアラーム、クロノグラフなどがあります。
Mボタンを押す毎に表示が時刻(TIME)→アラーム(ALM)→クロノグラフ(CHR)→0位置確認(0)と切り替わります。モード針で切り替わりを確認してください。
その後は再び時刻(TIME)表示に戻ります。
※Mボタンを押す時は指先で強く押して下さい。



クロノグラフの使い方

クロノグラフ計測は1/20 (0.05) 秒単位で最大60分まで計測できます。その後はクロノリセット状態になります。



【クロノグラフ計測針の見方】

1分未満の計測では……秒針→クロノ秒針
機能針→クロノ1/20秒針
1分以上の計測では……秒針→クロノ秒針
機能針→クロノ分針

【クロノグラフ計測】

【クロノグラフ単純又は積算計測】

- ①Mボタンを押してモード針を(CHR)に合わせクロノグラフ表示にします。この時、秒針と機能針が0位置へ早送りされます。
※時、分、24時間針は現在時刻を示します。
- ②Aボタンを押す毎に確認音とともにクロノスタート/ストップをくり返します。

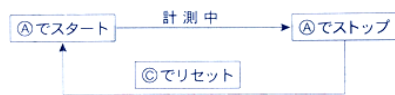
【クロノストップ時の計測時間が1分以上のときのクロノ各針の読み取り方】

- ①機能針で何分かを読み取る
②秒針で何秒かを読み取る
③④ボタンを押している間機能針が1/20 (0.05) 秒針に切り替わりますのでそのときの値を読み取ります。
④ボタンを離すと再び機能針はクロノ分を示します。
- クロノストップ状態で④ボタンを押すと機能針、秒針は0位置にリセットされます。

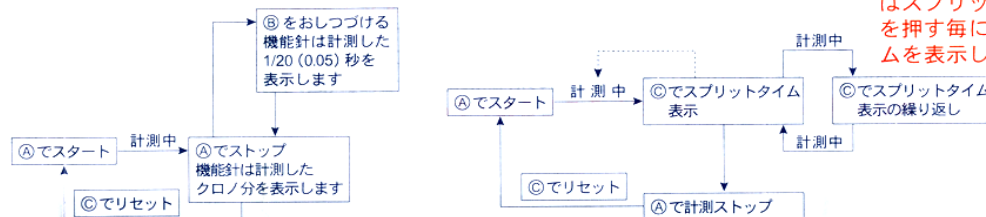
【クロノスプリット計測】

クロノ計測中に④ボタンを押すと確認音とともにクロノスプリット表示されます。再び④ボタンを押すと確認音とともに次のスプリットが表示されます。なおスプリット表示は約10秒後には自動的に解除され計測状態に切り替わります。クロノスプリット表示又は計測中に④ボタンを押すとクロノストップ表示になります。クロノストップ表示のときに④ボタンを押すとクロノリセットされます。

○クロノ1分未満の計測



○クロノ1分以上の計測



※スプリットタイムは計測中又はスプリット表示中に④ボタンを押す毎に次のスプリットタイムを表示します。

アラームの使い方



アラームは1日1回アラームセット時刻になるとアラーム音が15秒間鳴ります。
鳴っているアラームを止めたいときはA、B、Cのいずれかのボタンを押せば鳴り止みます。

【アラーム時刻のセット】

※Mボタンの引き出し操作を容易にするため、アラーム時刻を修正するときは腕から外して行ってください。
アラームのセットは24時間制です。1分単位のセットができます。

- ①Mボタンを押してモード針を(ALM)に合わせてアラーム表示にします。
- ②Mボタンを1段引き上げてアラーム時刻修正状態にします。
- ③B又はCボタンを押して時、分、24時間針をセットしたい時刻に合わせます。
・Bボタンを1回押す毎に……時計方向に1分単位のセットができます。
・Cボタンを1回押す毎に……反時計方向に1分単位のセットができます。
※B、Cボタンともに押し続けると早進針します。
アラーム時刻合わせが出来たらMボタンを押して「TME」モードにします。時・分・24時間針が自動的に早回転して現在位置に戻ります。

万一、時・分・24時間針が回転し続けて止まらない場合は、再びMボタンを押してください。

【アラームのON/OFF切り替え】

アラームセット時刻修正状態においてAボタンを押す毎にアラームのON/OFF切り替えができます。

【アラーム音モニター】

アラーム表示において(Mボタンは通常位置) Aボタンを一回押すとアラーム音が5秒間鳴ります。

△注意

- ・二次電池にどの位充電されているかによって多少アラーム音の大きさに違いが生じる場合があります。
- ・時刻表示以外の表示(アラーム、クロノグラフ、0位置確認、および各表示の修正状態)ではアラーム音が多少小さくなります。アラーム時刻のセットができたら、通常は時刻(TME)表示でお使いください。

このような場合には

充電警告表示になったら



時計がどの表示をしていても充電不足になると時刻表示に切り替わり、秒針がCHARGE位置へ移動して充電不足であることを知らせます。

このような場合には、光を充分当ててこの警告状態を解除してください。(秒針が1秒遅針に復帰します)

光の種類(光源)により異なりますが、光を当てはじめてからこの警告状態が解除されるまで約30分程度かかります。

停止警告表示になったら



充電不足状態をさらに放置しておくと約5日後には秒針がSTOP位置へ移動して時計が充電不足により停止していることを知らせます。

※この状態ではすべての機能が停止します。このような場合には光を充分当ててこの警告状態を解除してください。

また充分な充電を行った後にアラームセット時刻の再セットが必要です。

時刻合わせ警告表示になったら



1度停止した時計に再び光を当てて充電していくと秒針がSET位置に移動し時刻が正しくないことを知らせます。

このような場合には時、分、24時間針を正しい時刻に合わせ直してください。

この時刻修正と充分な充電をしないとアラーム、クロノグラフなど他の機能が作動しません。

SET位置に秒針が移動後30分以上経過しないと時刻合は出来ません。

※時刻合わせ警告表示状態のときに充分な充電がされていない場合は光をさえぎると秒針がSTOP位置に切り替わり、時計は停止してしまいますのでご注意ください。

ソーラーウォッチ充電時間の見方

時計のモデル(文字板色など)によって充電時間が異なります。

あくまで目安としてご利用ください。

*充電時間は連続照射時間です。

照度 (ルクス)	環境	充電時間		
		止まり状態から1秒 遅針までの時間	1日分の充電時間	フル充電時間
500	一般オフィス内	約28時間	約2時間30分	約220時間
1000	蛍光灯の下60~70cm	約13時間	約1時間	約105時間
3000	蛍光灯の下20cm	約4時間30分	約25分	約34時間
10000	曇天	約1時間30分	約8分	約10時間
100000	夏の日の直射日光下	約50分	約2分	約3時間

フル充電時間……時計が停止している状態から最大に充電されるまでの時間。

1日分の充電時間……1日動かすのに必要な時間

ソーラーウォッチ取り扱い上の注意

＜時計は常に充電を心掛けてお使いください＞

日常長袖などを着用していると時計が隠れて光に当たらないため充電不足になりやすいのでご注意ください。

・時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

△警告

この時計に使われている二次電池(チタンリチウムイオン電池)以外の電池は絶対に使用しないでください。

他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、むりに銀電池など他の種類の電池を使い万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。

二次電池交換の際は必ず指定の二次電池(チタンリチウムイオン電池/部品番号 295-29)をご使用ください。

充電警告機能

時計がどの表示をしていても充電不足になると時刻表示に切り替わり、秒針がCHARGE位置へ移動して充電不足であることを知らせます。(充電警告表示)

この時も時刻(時、分、24時間針)は正確に動いています。

※アラームがセットされていてもアラームは鳴りません。

※クロノグラフ計測中では計測を中止してリセットされます。

※プッシュボタンは機能しません。

(下段の“■このような場合には”を参照ください。)

停止警告機能

充電不足状態をさらに放置しておくと約5日後には秒針がSTOP位置へ移動して時計が充電不足により停止していることを知らせます。(停止警告表示)

秒針以外の各針(時、分、24時間針)も停止します。

※この状態ではすべての機能が停止します。

(下段の“■このような場合には”を参照ください。)

ソーラーウォッチ充電上の注意

△注意

・充電するときは時計が高温になると、故障の原因となりますので高温下(約60℃以上)での充電は避けてください。

例) 白熱灯、ハロゲンランプなど高温になりやすい光源に時計を近づけての充電。

ダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電。

・光の弱い場所でのフル充電は難しいのでご注意ください。

時刻合わせ警告機能

1度停止した時計に再び光を当てて充電していくと秒針がSET位置に移動し時刻が正しくないことを知らせます。(時刻合わせ警告表示)

※時、分、24時間針は正しくないまま動きだします。

(下段の“■このような場合には”を参照ください。)

過充電防止機能

安心して充電ができます。

二次電池がフル充電されると、それ以上は充電されないように過充電防止機能が働きます。

△注意

取扱説明書通りに操作できない時は、充電量が不足しています。

蛍光灯又は白熱灯下約20cmの位置で、約6時間以上充電してからご使用ください。

その時、光源に時計を近づけ過ぎないでください。

※直射日光下では約1時間以上充電してください。